

早稲田大学高等学院鉄道研究部とは？

私たち早稲田大学高等学院鉄道研究部は現在、3年生4名、2年生9名、1年生9名の合計22名で活動しています。

主な活動としては以下の2つが挙げられます。

- ① 学院祭へのストラクチャー等の出展
- ② 年2回の合宿及び新入生歓迎旅行

以上について詳しく説明していきます。



① 学院祭への出展

まず一つ目が、おそらく皆さんがご覧になられているであろう「学院祭」への出展です。

学院祭へ向けた準備が普段の鉄道研究部の最大にしてほぼ唯一の活動になっています。

主に学院祭で出展しているものは、「鉄道模型のレイアウト(Nゲージ)」「模型の運転体験」「毎年内容の変わる展示」「プラレール」などとなっています。「毎年内容の変わる展示」は、部員の私物となっていますので、毎年展示される内容が変わります。昨年は写真、鉄道部品、切符類が展示されました。

そして鉄道研究部ブースの大部分を担う鉄道模型レイアウトの展示は、過去に学院祭団体部門で特別賞をいただくなど高い評価をいただいています。部員たちがアイデアを出し合い、一から作り上げた1年間の苦勞の結晶とも言うておきましょう。

この部誌を書いている8月29日時点では、レイアウトの制作スピードは去年より遅め。

今年のレイアウトは皆さんの目から見ていかがですか？

② 年2回の合宿及び新入生歓迎旅行

つづいては合宿です。鉄道研究部では、3泊程度をめどにした夏合宿と1週間程度をめどにした春合宿の2つの合宿が行われます。冬合宿なるものも存在はしましたが、今年度以降の実施は未定です。今年はいりません。

合宿はホテルの予約から行程まですべて自分たちで決めるという自由なスタイルです。

もちろん特訓などは行われず、のんびり電車に乗ったり観光したり...というのが主な内容です。1日にかなりの長時間電車に乗ることもありますが、しっかり睡眠をとっているのですぐ大丈夫です。

昨年度は夏に四国、冬に中国地方、春に東北・北海道へ、今年度は夏に近畿へ行きました。春合宿は未定です。

これまでは3年間で主な地域(北海道、東北、中部、近畿、中国、四国、九州)を全部回れるようにローテーションが組まれていたのですが、そんなの無視してその時その時で行きたいところへ行けばいいのでは？といった意見もちらほら。

また、夏合宿のうちのどこかで車両基地、鉄道工場の見学を行っています。今年度は京阪電車寝屋川車両基地の見学を行いました。

そして新入生歓迎旅行とは、4月下旬(ここ2年は昭和の日)に日帰りで行う電車の旅です。

関東の中を縦横無尽に駆け巡ります。行程は入ってきたばかりの1年生がすべてたてます。

学院鉄研には、プロジェクト活動に参加する部員も多く、兼部も自由で2・3年次からの入部も歓迎しています。

その他詳細などについては、鉄研Tシャツを着た部員まで気軽に声をおかけください。